

カテーテルアブレーション全例登録プロジェクト(J-AB)に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2018年4月16日～2030年3月31日

〔研究課題〕

カテーテルアブレーション症例全例登録プロジェクト(J-AB レジストリ)

〔研究目的〕

この研究は、日本におけるカテーテルアブレーションの全例のデータ(施設数、術者数、疾患分類、合併症割合等)を集積することで、カテーテルアブレーションの現状を把握することを目的とします。

〔研究意義〕

全例を登録することで、カテーテルアブレーションの有効性・有益性・安全性およびリスクを明らかにすることができます。医療従事者に対する有用なデータとなるのみならず、患者・行政・司法に対しても有用な情報が得られます

〔対象・研究方法〕

当院でカテーテルアブレーションを行った方全員の年齢、性別、既往歴、お薬などの背景、不整脈の種類、アブレーション治療の方法と効果、合併症、転帰などを登録します。

〔研究機関名〕

国立循環器病研究センターをはじめとする、カテーテルアブレーションを行う全施設で行います。当院では村川裕二(教授)と速水紀幸(病院教授)が担当します。

〔個人情報の取り扱い〕

個人名が特定されないよう匿名化した上で登録し、個人情報は十分に保護されます。

〔その他〕

診療録から得られる情報を登録する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、謝礼もありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学医学部附属溝口病院第四内科 村川 裕二
研究分担者：帝京大学医学部附属溝口病院第四内科 速水 紀幸
住所：川崎市高津区二子 5-1-1 TEL:044-844-3333(代表)〔内線 3213〕